

◆一般国道 188 号^{こうじろ}神代交差点事故対策検討ワークショップ第 1 回開催状況

【ワークショップの概要】

ワークショップでは、10名の道路利用者（地域の方々）が3班に分かれてワークショップ（意見交換）を行い、班毎に対策案を盛り込んだ壁新聞を作りました。ワークショップには、警察官や道路管理者も参加して、地域の人からの質問などに答えました。



①最初に班の中で自己紹介



②体験・ハット体験を地図に書き込む
③対策案を全員で考え地図に書く



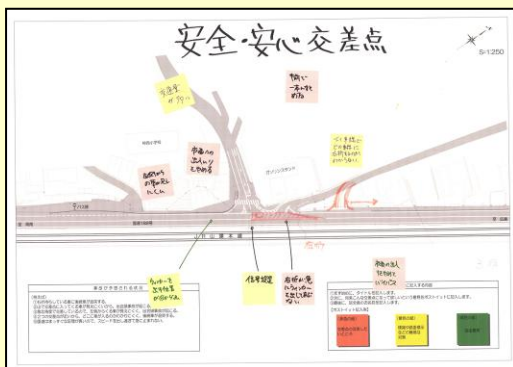
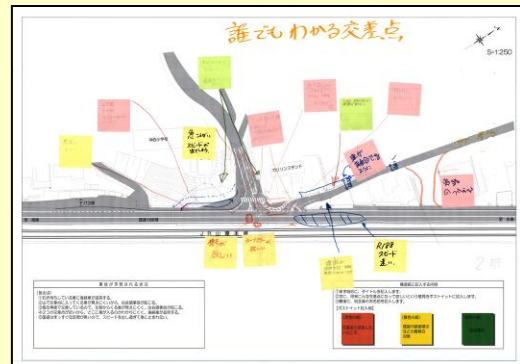
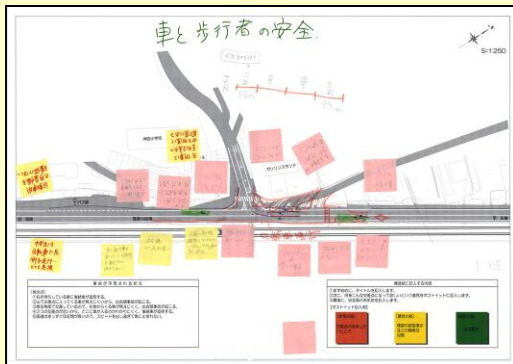
④最後は班毎に壁新聞を発表

【作成された壁新聞】

ワークショップでは、参加者全員が積極的に意見交換をされ、その意見を壁新聞にまとめました。（下図参照）

「国道に出るとき、確認しなければいけない方向や車が多くて困る」「歩道の無い JR 側を中学生が自転車で通行していてあぶない」など、**地域の方々しか知らないような問題をたくさん発見できました！**

～ 参加者全員で作った壁新聞 ～



皆さんから出された意見を
まとめました！

【3班の対策案とりまとめ結果】

対策案③：自転車歩行者道の設置
(主な理由)

- ・中学生が自転車でJR側を通行するので危険
- ・歩道が狭いので小学生と自転車のすれ違いが危険



【国道現況断面イメージ】

対策案①：右折レーンの設置
(主な理由)

- ・交差点があることが分からない
- ・右折車が急に減速するので危ない
- ・直進車のスピードが早い

対策案②：交差点位置（形状）の変更
(主な理由)

- ・交差角が急で車を確認しにくい
- ・市道が狭くて車の離合が困難
- ・国道からの左折車がどちらの市道に入るか分からない



【今後の進め方】

H23.6月

★第1回ワークショップ
・こんなヒヤリ・ハット体験をした！
・将来こんな交差点になってほしい！

道路利用者が考えた
事故対策案（素案）

●道路管理者による対策案作成
●警察、道路管理者（市）の意見照会

H23.9月
(予定)

★第2回ワークショップ
・対策案の検討結果報告
・対策案の意見交換会

事故対策案の決定

◆詳細設計
・工事発注用図面作成、関係機関協議など

★地元説明会
・対策内容、設計内容、用地買収の説明

◆対策工事

★住民との現地点検（対策後の状況確認）

★アンケートなどによる整備効果の確認

H24以降